

まちに繋がりと安心を与える
バリアフリー避難施設の提案



提案の背景

日本では地震、津波、豪雨による河川の氾濫、台風、火山活動などの**自然災害**が多発しており、ソフト面・ハード面であらゆる対策が講じられています。しかし、ハード面の対策はソフト面の対策と比べて莫大な費用がかかるため、対策を急ぎつつも慎重に検討を行う必要があります。その中でも特に、災害時に最も優先すべき「命」を守るための「**避難施設**」を建設する際に、「**避難施設が災害発生時以外にも活躍するにはどのような機能が効果的か**」という観点から今回の提案を考えました。

防災×観光×福祉

防災

避難場所、防災拠点

観光

観光案内所、資料館、イベントスペース

福祉

老人ホーム、保育所、交流スペース

防災×観光×福祉

防災

避難場所、防災拠点

- ・ 1,2階は駐車場、**3階以上**に避難（津波，洪水への対策）
- ・ 屋上に**ヘリポート**を設置
- ・ 発電システム（太陽光発電？）
- ・ 食料、衛生用品などの備蓄
- ・ 普段から人々が集まる場所にすることで、多くの人が**場所を把握**できる

防災×観光×福祉

観光

観光案内所、資料館、イベントスペース

- ・観光客への情報発信の場
- ・地域の文化や名産品を活かしたワークショップ・マルシェ等の開催
- ・地域の人々と観光客が交流できる**イベント**の開催
- ・貴重な**文化財**の展示・保管場所
- ・普段から人の集まる場所にすることで、避難の際の**不安を払拭**できる

防災×観光×福祉

福祉

老人ホーム、保育所、交流スペース

- ・ **スロープ**ですべてのフロアをつなぎ、高齢者や子供も避難しやすい場所に
- ・ 施設内に老人ホームや保育所があることで、**災害弱者の安全が確保できる**
- ・ 介護や医療機器が必要な高齢者が施設外から避難してきた際に、ある程度対応できる
- ・ 高齢者の移動など人手が必要な際に避難者同士が協力しやすい
- ・ 災害発生時にもトイレ、浴場が利用できる